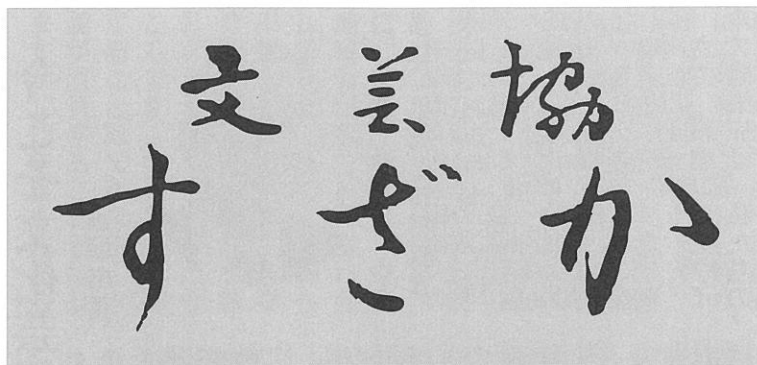




第41号

発行所

須坂市文化芸術協会

〒382-0013 須坂市常盤町747

須坂市中央地域公民館内

TEL(026)245-1598 FAX(026)246-3906

印刷所：ヒタキ印刷株式会社



枕慈童 須坂宝生会



アーティストは必要不可欠であり 生命維持に必要である

— ドイツ文化相 —

須坂市文化芸術協会会長 花房 多都蔵



1月、中国の武漢市から発症した新型コロナウイルスは世界中に猛威をふるい、日本をはじめ世界全体で六百万人以上の

感染者と三十数万人の死者が出ており、いつ収束するのか全く分からない厳しい状況にあります。

そうした中、3月24日に安倍総理大臣は東京オリンピックの1年延期を発表しました。そして4月7日、7都府県に緊急事態宣言を発令し、4月16日には全国に緊急事態宣言を拡大。その後、5月6日だった自粛期限も5月25日まで延長されました。

思えば昨年の5月1日、夢と希望をいだき日本国民が歓喜に沸いて迎えた新しい時代「令和元年」。半年後の10月12、13日には台風19号による東日本豪雨災害が発生し、須坂市をはじめ長野県の千曲川流域に甚大な被害が発生しました。そして、それからわずか数か月後、目に見えない新型コロナウイルスという敵に襲われ恐怖と苦難の日々を送るとは、いったい誰が想像したでしょう。私たち文化団体も大きな影響を受け、公共施設や文化施設の使用禁止で会議や稽古

乗り越え日本の伝統と歴史、そして地域で生まれ育った文化芸術を守り、伝承していただきますようお願い申し上げます。同時に、文芸協の未来と須坂市の活性化のために協力賜りますようお願い申し上げます。

また、「アーティストは必要不可欠であり、生命維持に必要である。」と言ってコロナで困窮している芸術家たちに支援したドイツ文化相の文化芸術への意識の高さとリスペクトに、私は只々感心して称賛いたしました。

文化芸術は自身を成長させ、人を感動させることができる素晴らしいものです。1日も早いコロナの収束と日本人の更なる文化意識の向上を願って、今は忍耐と辛抱です。

結びに、昨年の第57回須坂市民文化祭において、台風19号東日本豪雨災害義援金として会員の皆様よりご協力いただき、30万491円を須坂市に寄付させていただきました。被害にあわれた皆様に心から御見舞い申し上げますとともに、文芸協として少しでも気持ちを届けられたことに対して会員の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。そしてご挨拶とさせていただきます。

古・発表会など全く活動できない状況です。新年度の4月に定期理事総会を開催することができず、会員の皆様には大変不安な気持ちでいられると思います。が、どうかこの困難を

今こそ文化芸術の力を

須坂市長 三木 正 夫



須坂市文化芸術協会の皆様におかれましては、それぞれの文化芸術活動を通し、本市の文化芸術の振興、発展に寄与いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常生活や経済活動、文化芸術活動にも大きな影響を落としています。市民の皆様には外出の自粛や三密を避ける行動など、様々なご協力をいただく

と共に、市の施設についても閉鎖をし、皆様の稽古やお仲間とのふれあいにも支障をきたしているものと推察します。

こうした厳しい状況ではありますが、文化芸術がもつ力、効能といった

ものが改めて見直されております。文化芸術は精神的なゆとりや潤いを感じ、心豊かな生活を実現していく上で不可欠なものであり、また、活動を通して人と人とのつながり、歴史の積み重ねに誇りやアイデンティティを形成する、まさに社会の基盤を形成するものでもあります。

本会報が発行される頃にはどのような状況になっているか見通すことは困難ではありますが、様々な文化芸術活動が再開できていることを願うものであります。

須坂市では「文化芸術を核とした『まちづくり』『ひとづくり』」を目指しているところであり、さらに「まるごと博物館構想」を進めております。文化芸術協会の皆様におかれましては、同好の志を増やし、潤いのある、文化の薫り高い須坂市の実現に向け、引き続きご

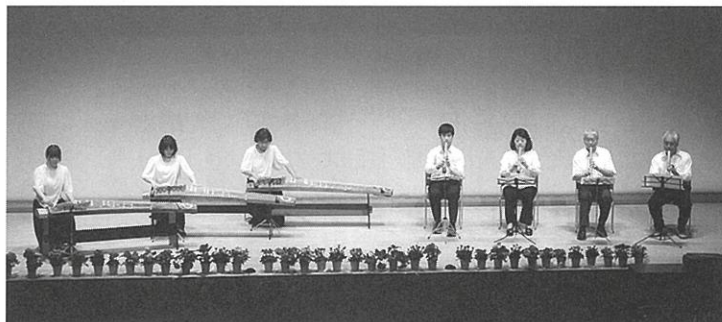
令和元年度
第57回

須坂市民文化祭 から



尽力を賜りますようお願いいたします。

結びに花房会長はじめ会員の皆様のご健勝と、須坂市文化芸術協会の益々のご発展を祈念申し上げます。



音楽祭 (ザ・尺八 令和)



謡曲会 (須坂宝生会)



展示 生け花



正派雅尚会



芸能祭 (花房多都蔵社中)

生涯学習社会の発展のために

須坂市生涯学習推進課長 山岸 一延



須坂市文化芸術協会の皆さまにおかれましては、日ごろから生涯学習活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

須坂市では、生涯学習の一層の推進に向けて組織改正を行い、生涯学習スポーツ課は「文化スポーツ課」に、生涯学習推進センターと中央公民館は「生涯学習推進課」に、また、新たに「中央地域公民館」を設置いたしました。施設の名称も中央公民館から「生涯学習センター」になり、新たなスタートを切ったところです。文化芸術に関することは文化スポーツ課が所管することとなりますが、12年目を迎える

文化芸術講座は、引き続き中央地域公民館が連携して行つてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、この原稿を執筆している今も新型コロナウイルス感染症は拡大する一方で、文化芸術講座の開催も延期、あるいは中止を検討せざるを得ない状況です。これまでも文化芸術は幾多の困難を乗り越えながら脈々と受け継がれ、生活に潤いをもたらしてきました。地域社会、あるいは生涯学習社会の発展のために欠かすことのできないものであると考えます。

結びに、花房会長をはじめ会員の皆さま方の、地域に根差した伝統文化芸術の保存、継承活動にあためて敬意と感謝を申し上げますとともに、益々のご発展とご健勝を祈念申し上げます。

令和元年度 文化芸術講座



楽しい生け花（古流松藤会）



さわやか謡曲講座（観世流）



気軽に楽しむ日本舞踊（藤間流）



ザ・尺八2019（ザ・尺八令和）



茶道入門（石州流）

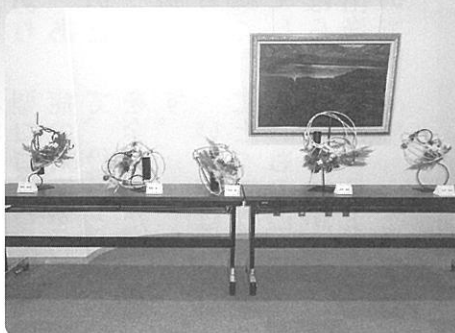


仲間づくり謡曲塾（宝生流）

第10回 子どもわくわくフェスティバルより 2019.12.8



須坂高校ダンス部



草月流



花柳葉緑社中

文芸協と私

①

文芸協と私

観世講座の会 田中賢一



私が謡曲を習わせて
いただいていたから7年目
を迎えようとしており
ます。公民館の文化芸
術講座の「観世流謡曲」
を、村石武志先生の優
しくも厳しい指導を受
けながら、サークル化
し、観世流謡曲連合会、
また、文芸協の末席に
も加えさせていただき
ました。小謡（北信流・
お肴）ができれば、ぐら

いに考えていたものが
能楽へと興味や関心が
拡大し、伝統的な日本
文化に触れることの喜
びと責任に胸震えてい
る日々です。

文芸協は文化芸術を
核とした皆様のパワー
の発現の場です。この
原稿を書いている現在
は、新型コロナにより
思うような活動ができ
ませんが、このような
時こそ雌伏し、文化
芸術の力をひそかに
蓄えるときです。謡
曲の普及のため、市
民文化祭謡曲会や観
世流素謡会などに知
り合いをお誘いする
中で、忙しい中ここ
ろよく来場され、の
ちほど感想をいただ
くなど、応援してい
ただく方の存在も励
みになっています。
※写真は来場いただ
いたファンK氏の写
真です。感謝。

文芸協と私

②

ハーモニカと私

ハーモニカコスモス 直江利子

今年は、新
型コロナウイ
ルスの感染拡
大で、教室も
休講、三月に
予定してい
た「第十五回
ロビーコン
サート」も中
止となりまし
た。いつ収束
するかわから
ず、目標も失
いそうな試練
の年となっ
ています。



須坂、長野、東京へと
道筋を作ってください
た勝山延洋先生の努力
を忘れてはなりません
私も途中から仲間に入
れていたいただき、今日に
至っています。
毎年長野で開催され
るコンサートでは、ゲ

ストの先生はじめ、上
手な方々の演奏を聞く
たびに、日頃の練習の
大切さを感じます。メ
ンバーも高齢になりま
したが、新しい曲、懐
かしい曲を学び、月四
回の教室を楽しんでい
ます。

文芸協と私

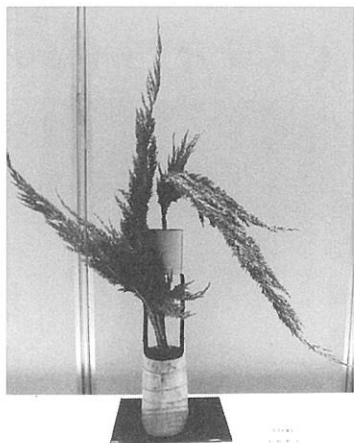
③

文芸協と私

古流松藤会 下村敦子

文芸協の役員として
三年目を迎えることが
出来ました。他流の先
生方とは、役員会・行
事などの出席や文化祭
の準備など、いろいろ
教えていただく事が多
い三年間でした。あり
がとうございます。あ
と二年間頑張りたいと
思います。

私も、いけ花を始め
て三十六年目になりま
す。これ程長く続く
とは思いませんでした。
幸運にも、すばら
しい酒井先生との出逢
いがあったからなので
す。公私と
もにお世話
になってい
ます。先生
から教えて
いただいた
事を次の世
代につなげ
ていけたら
と思います。
しかし現



在日本では、新型コロナ
ナウイルス感染症の状
況が日に日に悪化して
いる状況です。四月の
役員会も皆様の安全を
最優先しての中止と思
われます。私自身、新
型コロナナウイルス感染
症の対策をしつかりし
て、役員としての役目
を全うしたいと思いま
す。

いけ花は、私の人生
にとつてなくてはなら
ないものになっていま
す。これからも精進し
てまいります



昨年文芸協の一員としてお仲間に加えさせていただきました。呉翔流としては長く加盟していますが、会の代表としては初めてです。何もわからず一年間が過ぎました。

なる向上の為に尽力されている事を知りました。何十年の歴史と経験からあまり目立たない存在ではありますが、根強く各種団体をまとめあげています。

さて、私の詩吟との出会いは約三十年前にさかのぼります。今お世話になっていきます先生より誘いをうけたのが始まりです。当時は詩吟が大流行した時期より若干時間がたっていたと思います。現在、会の会員も少なくなってきましたが、若い人達が興味を持ち、詩吟を更に発展させてくれたらと思います。

これから宜しくお願い致します。

文芸協と私

④

呉翔流吟道会 村石 勇

文芸協と私

文芸協と私

⑤

篠塚麗比フラスクール 篠塚麗比

文芸協と私

毎年秋の市民文化祭に出演出来る事を楽しみに一年を過ごしています。

変わらず訪れる桜の花が咲く風景を今年ほどさみしく感じる年も無いように感じる春でした。昨年の台風災害に続き今年はコロナの影響で私達の生活そのものが自粛を余儀なくされる中、社会の流れもオンラインが推奨され大きく変化して行くように感じています。

喜びを伝えて下さった事に感動し胸が熱くなりました。つくづく人間の生活には音楽や踊り、芸術が必要であり心を豊潤にしてくれるものだと感じました。今年もまた秋のメセナの舞台に生徒さん達と立てる事を励みに、喜びや夢を与えられるような舞台を創り上げたいと願っております。



第58回 須坂市民文化祭

音楽祭

10月25日(日)
メセナ大ホール

展示会

10月24日(土)
25日(日)
メセナ小ホール

芸能祭

10月25日(日)
メセナ大ホール

茶席

10月25日(日)
メセナ小ホール
ホワイエ

謡曲会

10月17日(土)
生涯学習センター
(中央公民館)
3階ホール

平成31年度(令和元年度)須坂市文化芸術協会決算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

収入金額 1,233,475円
支出金額 1,173,373円
差引残高 60,102円(次年度繰越金)

収入の部

単位・円

項目	予算額	決算額	増減	摘要
繰越金	87,325	87,325	0	前年度から
会費	720,000	689,600	△ 30,400	41団体×3,000円 607人×500円 子どもわくわくフェスティバル、新年交流会等
補助金	450,000	450,000	0	須坂市から
雑収入	5,675	6,550	875	祝儀等
合計	1,263,000	1,233,475	△ 29,525	

支出の部

単位・円

項目	予算額	決算額	増減	摘要
会議費	15,000	11,028	△ 3,972	役員会、理事会、監査、冷暖房費等
渉外費	10,000	9,500	△ 500	市入ボート協会、表彰式、保護書道
普及活動費	50,000	48,444	△ 1,556	子どもわくわくフェスティバル 連席講座
通信・事務費	50,000	30,362	△ 19,638	コピー用紙、コピー代、はがき代等
負担金	45,000	49,500	4,500	須高文化交流会、各種大会 須坂市へ東日本台風義捐金
役務費	33,000	36,000	3,000	
事業費	1,025,000	968,539	△ 56,461	文化祭、その他
名簿・会報	75,000	82,464	7,464	
広告	83,000	73,420	△ 9,580	
内プログラム	145,000	140,400	△ 4,600	
謡曲部	46,000	46,000	0	
音楽部	76,000	76,000	0	
芸能部	272,000	272,000	0	
展示部	58,000	58,000	0	個人会費含む
茶席部	20,000	20,000	0	
その他事業	250,000	200,255	△ 49,745	議員懇談会、新年交流会
特別事業積立金	20,000	20,000	0	特別事業積立金 140,032円 (次年度へ繰越)
予備費	15,000	0	△ 15,000	前年度 繰越金 120,032円 本年度 積立金 20,000円
合計	1,263,000	1,173,373	△ 89,627	

令和2年度 須坂市文化芸術協会予算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

収入金額 1,310,102円
支出金額 1,310,102円
差引残高 0円

収入の部

単位・円

項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
繰越金	60,102	87,325	△ 27,223	前年度より繰越
会費	790,000	720,000	70,000	40団体×3,000円 590人×500円 行政懇談会、新年交流会、須高文化交流会等
補助金	450,000	450,000	0	須坂市から
雑収入	10,000	5,675	4,325	祝儀等
合計	1,310,102	1,263,000	47,102	

支出の部

単位・円

項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
会議費	15,000	15,000	0	役員会、理事会、監査、冷暖房費等
渉外費	10,000	10,000	0	
普及活動費	50,000	50,000	0	子どもわくわくフェスティバル 連席講座
通信・事務費	37,000	50,000	△ 13,000	コピー用紙、コピー代、はがき代等
負担金	45,000	45,000	0	須高文化交流会、各種大会
役務費	38,000	33,000	5,000	
事業費	1,100,000	1,025,000	75,000	文化祭、その他
名簿・会報	83,000	75,000	8,000	
広告	75,000	83,000	△ 8,000	
内プログラム	145,000	145,000	0	
謡曲部	46,000	46,000	0	
音楽部	76,000	76,000	0	
芸能部	270,000	272,000	△ 2,000	
展示部	58,000	58,000	0	個人会費含む
茶席部	20,000	20,000	0	
その他事業	327,000	250,000	77,000	行政懇談会、新年交流会、 須高文化交流会
特別事業積立金	20,000	20,000	0	
予備費	10,102	15,000	△ 4,898	
合計	1,310,102	1,263,000	47,102	

令和2年度 須坂市文化芸術協会事業計画

期日	事業	内容	場所
4月7日(火)	役員・常任理事会	定期理事会付託議案審議	生涯学習センター
4月7日(火)	編集委員会	発行までのスケジュール確認	生涯学習センター
4月15日(水)	定期理事会	決算報告・事業計画など	書面審議
5月18日(月)	役員・常任理事会	第1回理事会付託議案審議	生涯学習センター
5月25日(月)	編集委員会	校正	生涯学習センター
6月4日(木)	連携講座開始	各部 6講座	生涯学習センター
6月15日(月)	第1回理事会	行政懇談会・予算ほか	生涯学習センター
6月29日(月)	役員・常任理事会	行政懇談会ほか	生涯学習センター
7月11日(土)	行政懇談会	中止	
7月18日(土)	須坂カッタカタまつり	中止	
9月14日(月)	第2回理事会	市民文化祭・子どもわくわくフェスティバルほか	生涯学習センター
10月17日(土)	第58回市民文化祭	謡曲会	生涯学習センター3階ホール
10月24日(土)・25日(日)		展示会	メセナ小ホール
10月25日(日)		茶席	メセナ小ホールホワイエ
10月25日(日)		音楽祭	メセナ大ホール
10月25日(日)		芸能祭	メセナ大ホール
11月6日(金)	役員会	子どもわくわくフェスティバル	生涯学習センター
12月6日(日)	第11回子どもわくわくフェスティバル	子ども達の舞台発表と展示	メセナ小ホール
令和3年			
1月26日(火)	役員・常任理事会	新年交流会・須高文化交流会	生涯学習センター
2月6日(土)	文芸協新年交流会		生涯学習センター
3月	須高文化交流会	須坂・小布施・高山文化交流	生涯学習センター
3月15日(月)	役員・常任理事会	当年度事業及び決算報告・次年度事業計画ほか	生涯学習センター
3月	会計監査	令和2年度事業・収支監査	生涯学習センター

編集後記

昨年の台風19号の災害から、今年の新型コロナウィルスの蔓延で、あらゆる行事、集会等の中止、困難な年が始まりました。皆さんの心に苦難の思いがにじんでいます。須坂市文化芸術協会の灯を消してはなりません、との思いで文芸

協だよりを作成いたしました。苦しい時こそ文化の明かりが必要です。皆さん頑張りましょう。(青木)

〈編集委員〉

青木日出雄・市村文男
宮崎さと子・北原
中島雅景・牧山
下村敦子・永山
高坂恵美子・浩隆